

全国中小企業動向調査結果

(2019年7-9月期実績、10-12月期以降見通し)

小企業の景況

(原則従業員20人未満)

小企業の景況は、持ち直しの動きに足踏みがみられる

(前回)持ち直しの動きに足踏みがみられる

- 業況判断DIは、前期から横ばいの▲26.0となった。
来期はマイナス幅が拡大する見通し。 ← 5ページ
- 売上DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲21.3となった。
来期もマイナス幅が拡大する見通し。 ← 10ページ
- 採算DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲12.3となった。
来期はマイナス幅が縮小する見通し。 ← 11ページ

■ 主要DI(カッコ内は前回調査からの変動幅)

業況判断DI	売上DI	採算DI	資金繰りDI	借入DI
▲26.0(±0.0)	▲21.3(-0.7)	▲12.3(-1.1)	▲19.0(-0.8)	▲9.1(-2.0)

中小企業の景況

(原則従業員20人以上)

中小企業の景況は、回復の動きに足踏みがみられる

(前回)弱い動きがみられるものの、緩やかに回復している

- 業況判断DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲2.9となった。
来期はマイナス幅が拡大、来々期は縮小する見通し。 ← 17ページ
- 売上DIは、前期から低下し、0.4となった。
来期は低下、来々期は上昇する見通し。 ← 20ページ
- 純益率DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲6.4となった。
来期はマイナス幅が拡大、来々期は縮小する見通し。 ← 21ページ

業況判断DI	売上DI	純益率DI	資金繰りDI	長期借入難易DI
▲2.9(-2.0)	0.4(-5.4)	▲6.4(-1.5)	3.5(-1.0)	12.6(+0.8)

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第二グループ Tel:03-3270-1691(担当:星田、中谷)
中小企業研究第一グループ Tel:03-3270-1703(担当:分須(わけす)、藤井)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

目次

調査結果の概要	1
---------	---

【小企業編】

概況	3
調査の実施要領	4
業況判断	5
売上	10
採算	11
資金繰り、借入	12
経営上の問題点	13
設備投資、価格動向	14

【中小企業編】

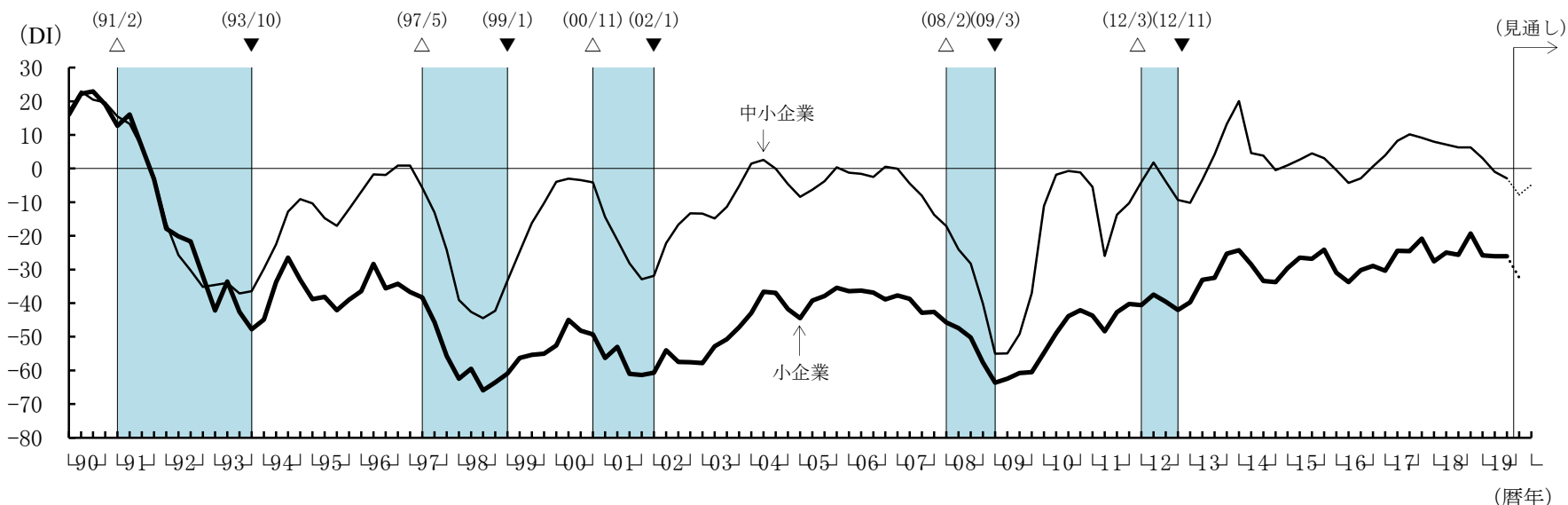
概況	15
調査の実施要領	16
業況判断	17
売上	20
利益	21
価格、金融関連	22
雇用、設備	23
経営上の問題点	24

調査結果の概要

1 業況判断DIの推移

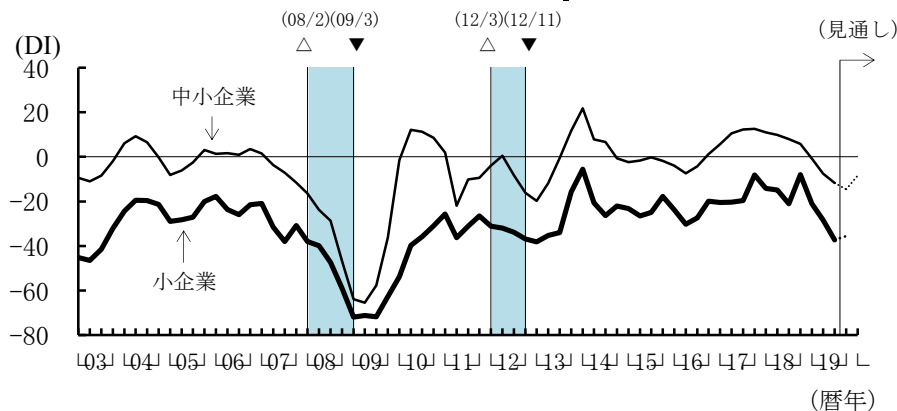
①全業種計

	17.7-9	17.10-12	18.1-3	18.4-6	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9	19.10-12	20.1-3
中小企業	10.2	9.1	8.0	7.1	6.3	6.3	3.1	▲ 0.9	▲ 2.9	見通し	見通し
小企業	▲ 24.5	▲ 20.8	▲ 27.6	▲ 24.9	▲ 25.6	▲ 19.3	▲ 25.8	▲ 26.0	▲ 26.0	▲ 32.4	-



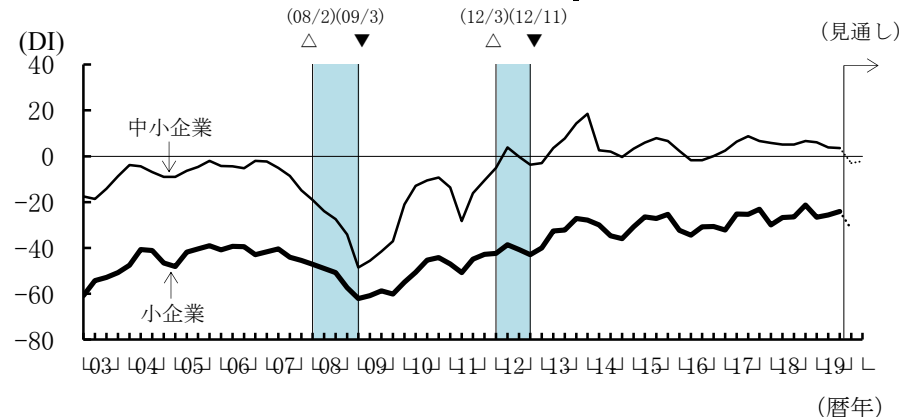
②製造業

	19.1-3	19.4-6	19.7-9	19.10-12	20.1-3
中小企業	▲ 0.8	▲ 7.6	▲ 11.7	▲ 14.5	▲ 8.4
小企業	▲ 21.0	▲ 28.4	▲ 37.2	▲ 35.6	-



③非製造業

	19.1-3	19.4-6	19.7-9	19.10-12	20.1-3
中小企業	6.0	3.8	3.6	▲ 3.1	▲ 2.1
小企業	▲ 26.6	▲ 25.6	▲ 24.1	▲ 31.8	-

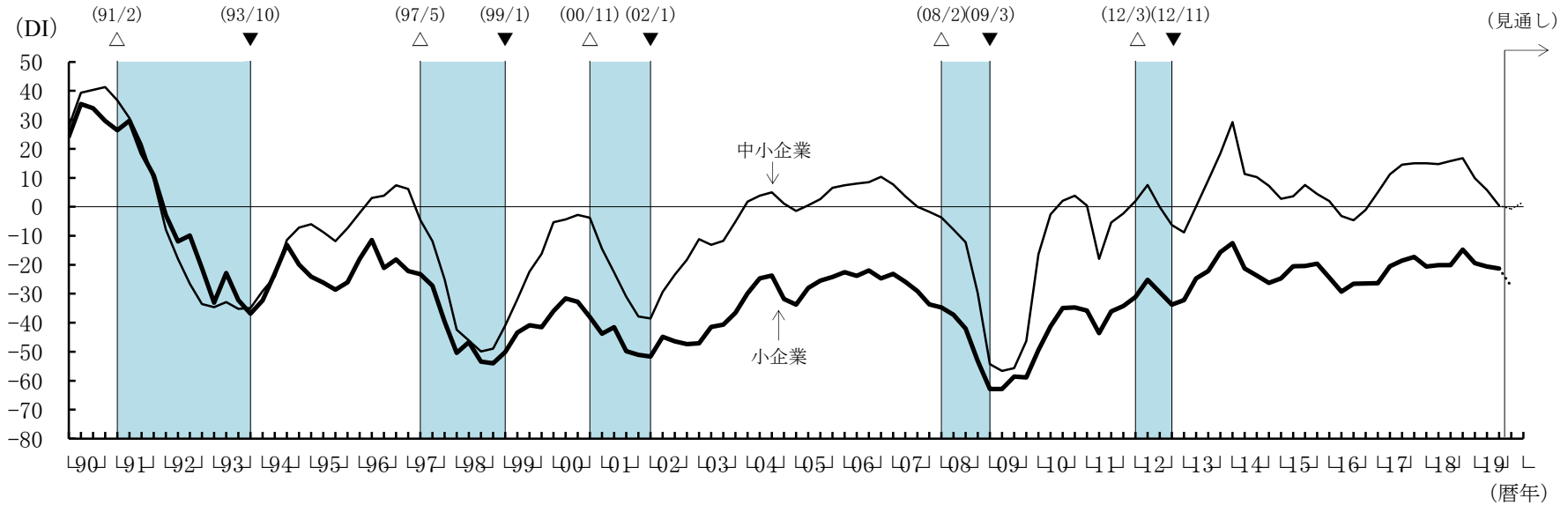


- (注) 1 小企業のDIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 中小企業のDIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値(季節調整済)。
 3 △は景気の山、▼は景気の谷、シャドー部分は景気後退期を示す(以下同じ)。

2 売上DIの推移

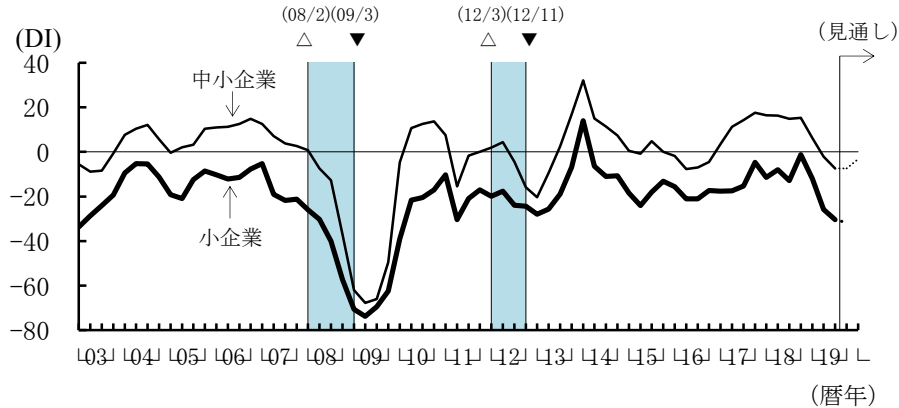
①全業種計

	17.7-9	17.10-12	18.1-3	18.4-6	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9	19.10-12	20.1-3
中小企業	14.6	15.1	15.0	14.7	15.8	16.7	9.9	5.8	0.4	見通し	見通し
小企業	▲18.5	▲17.3	▲20.6	▲20.1	▲20.1	▲14.8	▲19.4	▲20.6	▲21.3	▲27.5	-



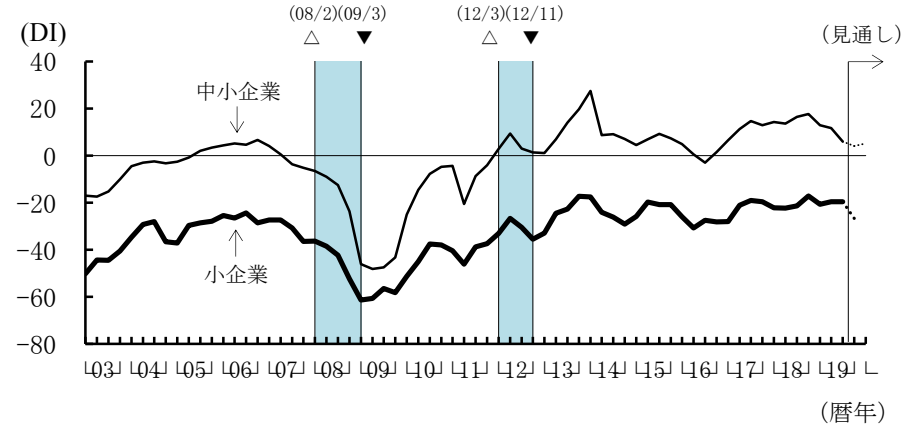
②製造業

	19.1-3	19.4-6	19.7-9	19.10-12	20.1-3
中小企業	6.2	▲2.1	▲7.4	▲7.3	▲3.3
小企業	▲12.0	▲25.8	▲30.4	▲31.7	-



③非製造業

	19.1-3	19.4-6	19.7-9	19.10-12	20.1-3
中小企業	12.9	11.7	5.9	見通し	見通し
小企業	▲20.7	▲19.7	▲19.7	▲26.7	-



- (注) 1 小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 中小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値（季節調整済）。

小 企 業 編

(2019年7－9月期実績、10－12月期見通し)

小企業の景況は、持ち直しの動きに足踏みがみられる

[調査の実施要領]

調査時点 2019年9月中旬
 調査対象 当公庫取引先 10,000 企業
 有効回答数 7,067 企業 [回答率 70.7 %]

<業種構成>

		調査対象	有効回答数	
製造業	(従業者20人未満)	1,500 企業	1,061 企業	(構成比 15.0 %)
卸売業	(同 10人未満)	800 企業	636 企業	(同 9.0 %)
小売業	(同 10人未満)	2,450 企業	1,645 企業	(同 23.3 %)
飲食店・宿泊業	(同 10人未満)	1,800 企業	1,123 企業	(同 15.9 %)
サービス業	(同 20人未満)	2,000 企業	1,493 企業	(同 21.1 %)
情報通信業	(同 20人未満)	160 企業	103 企業	(同 1.5 %)
建設業	(同 20人未満)	1,100 企業	838 企業	(同 11.9 %)
運輸業	(同 20人未満)	190 企業	168 企業	(同 2.4 %)

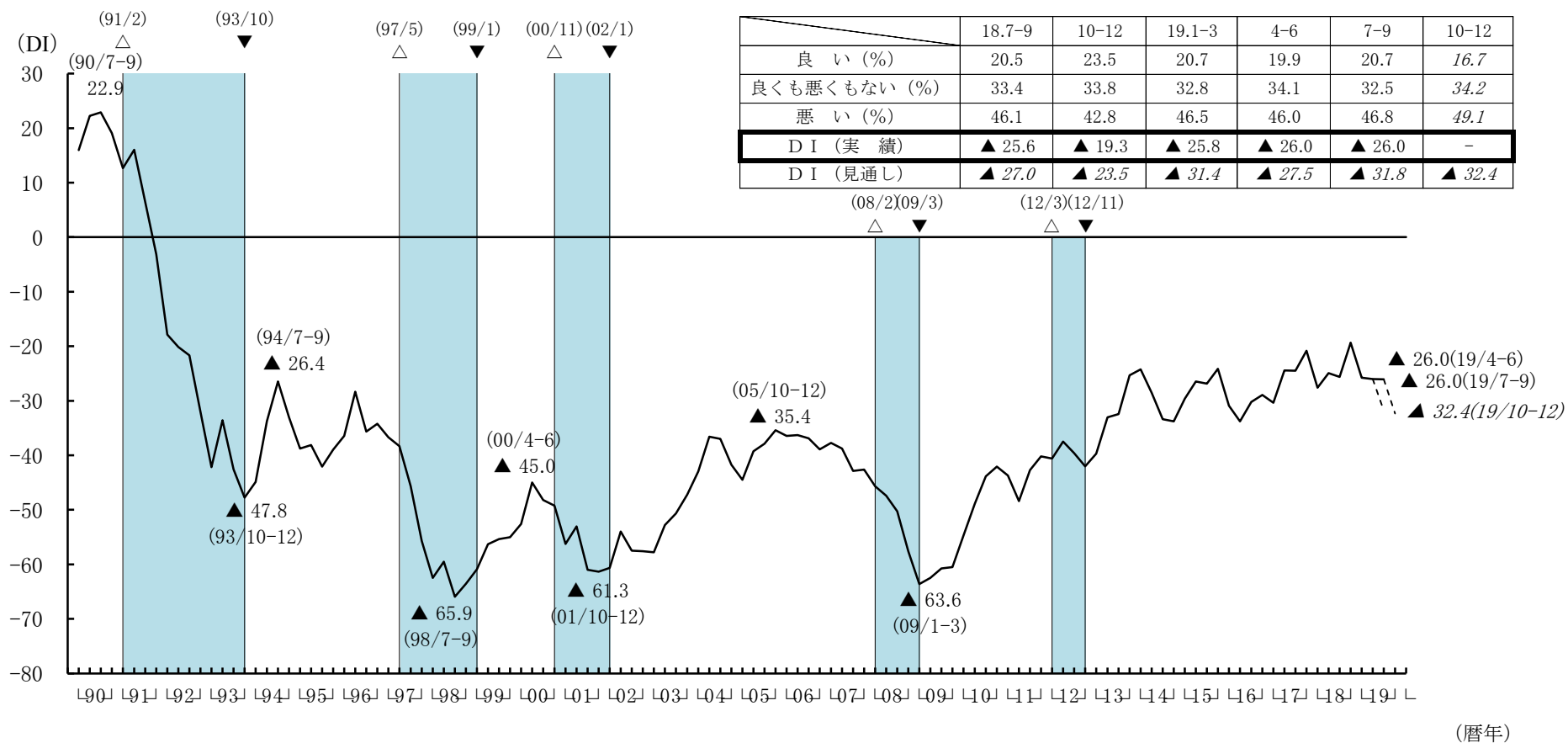
(参考)

法人	4,645 企業	(構成比 65.7 %)
個人	2,422 企業	(同 34.3 %)

1 業況判断

- 今期の業況判断DI（全業種計）は、前期（2019年4-6月期）から横ばいの▲26.0となった。
- 来期は、マイナス幅が拡大し、▲32.4となる見通しである。

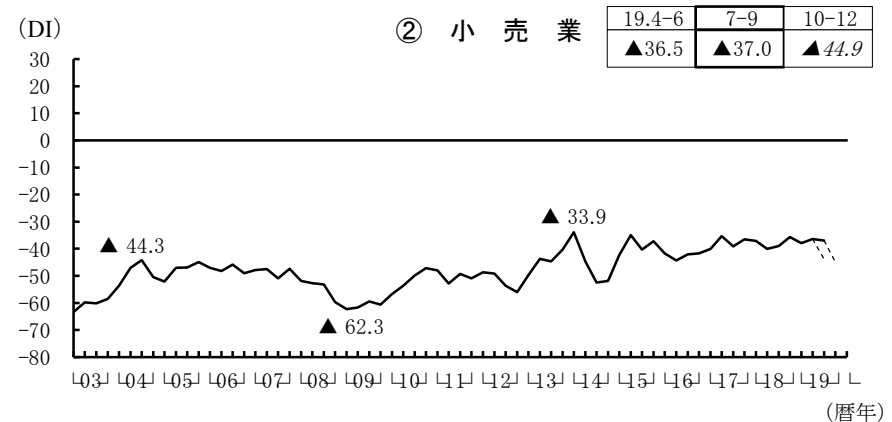
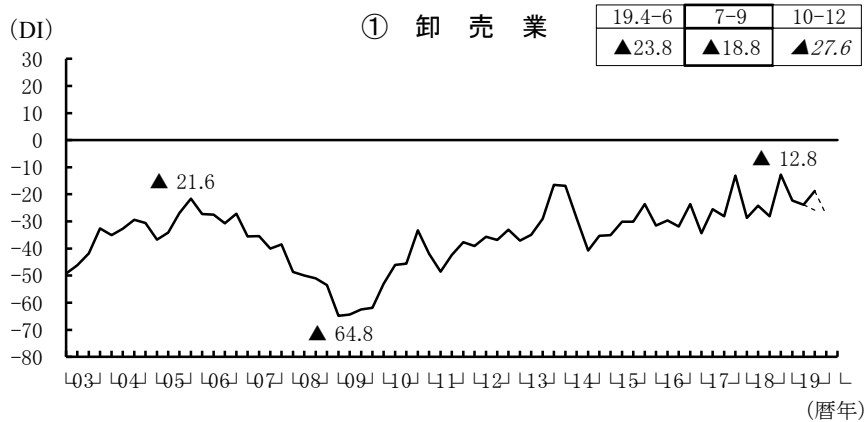
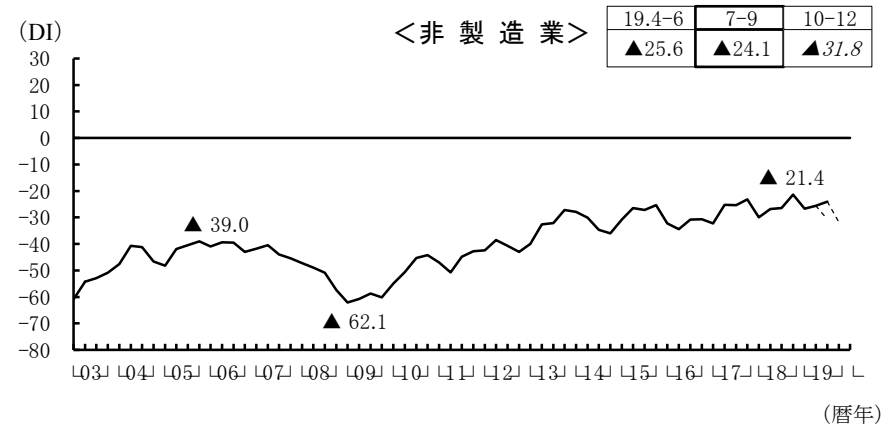
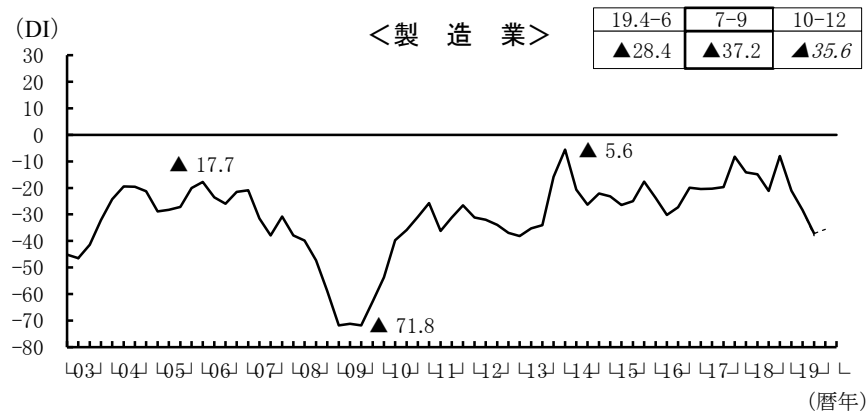
図-1 業況判断DIの推移（全業種計）

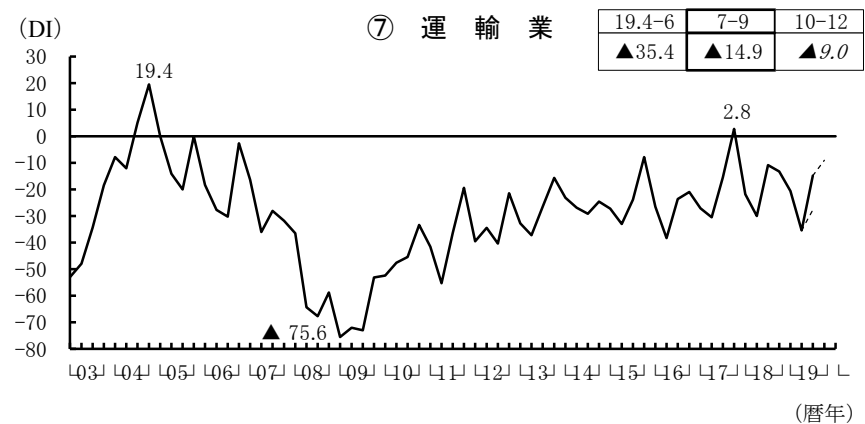
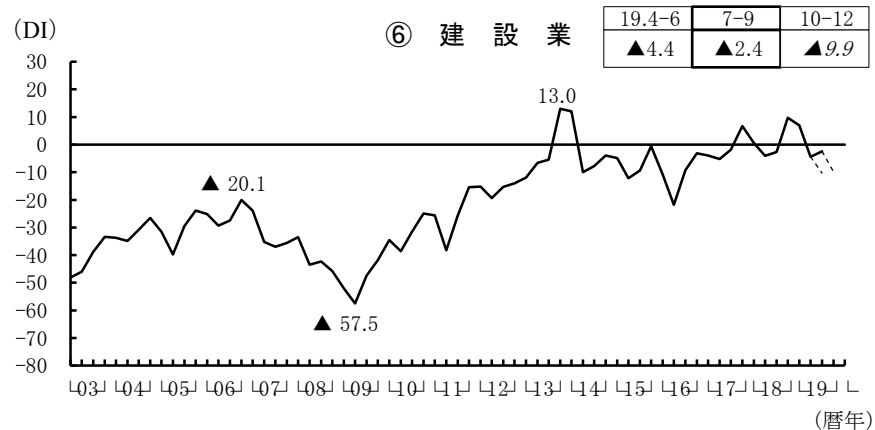
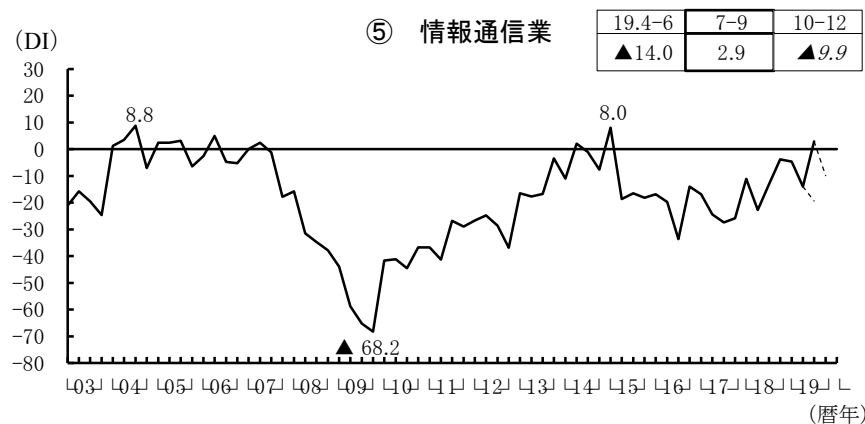
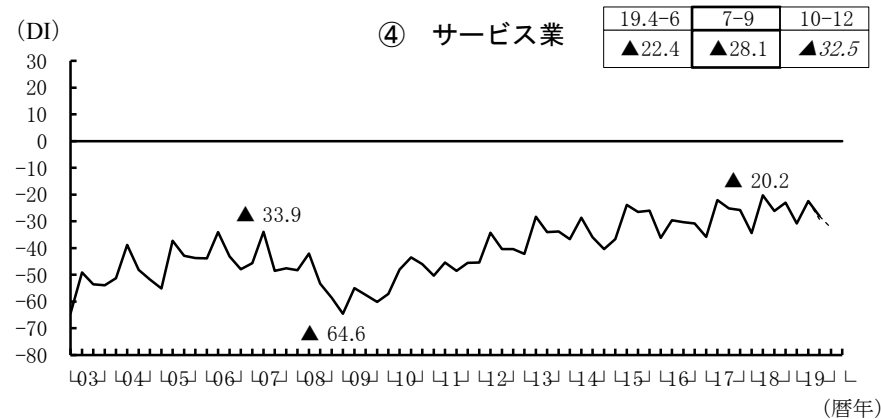
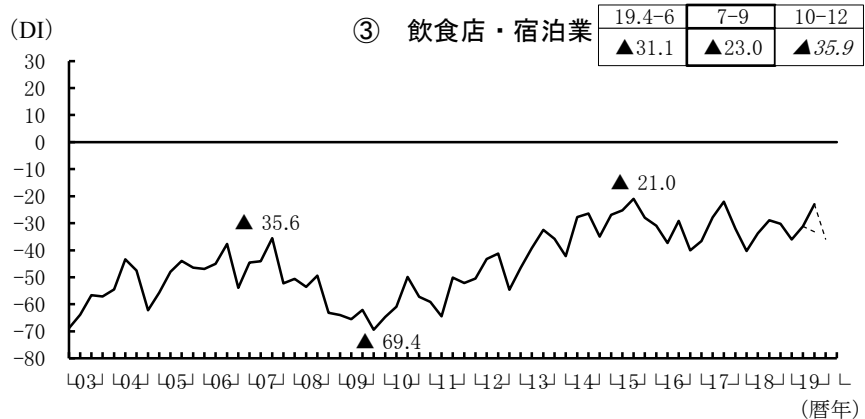


(注) 1 DIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

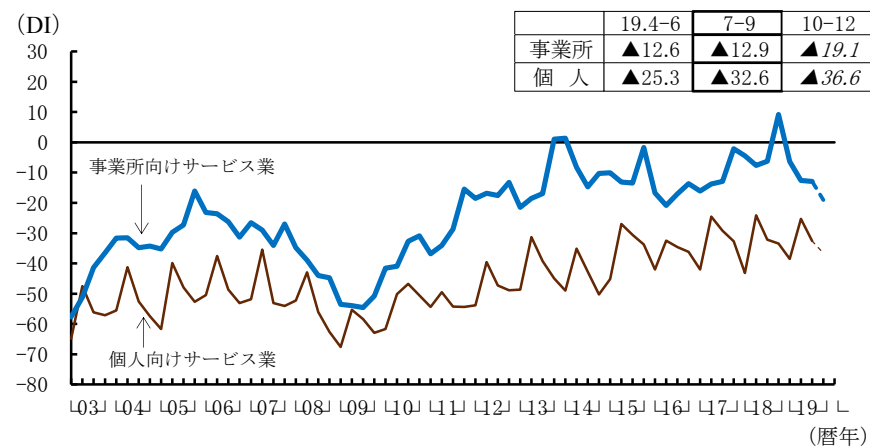
- 業況判断DIを業種別にみると、製造業（▲37.2）ではマイナス幅が拡大、非製造業（▲24.1）ではマイナス幅が縮小した。非製造業を構成する大分類業種のうち、小売業、サービス業を除く全ての業種で上昇した。
- 来期は、製造業ではマイナス幅が縮小、非製造業ではマイナス幅が拡大する見通しである。

図－２ 業種別業況判断DIの推移



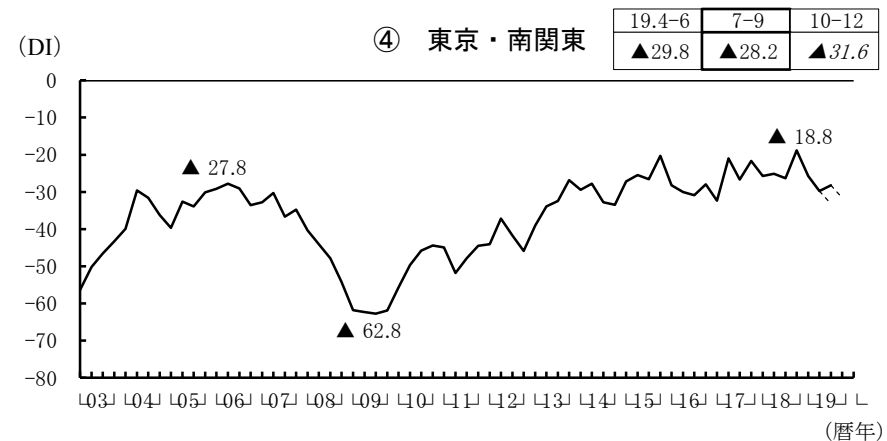
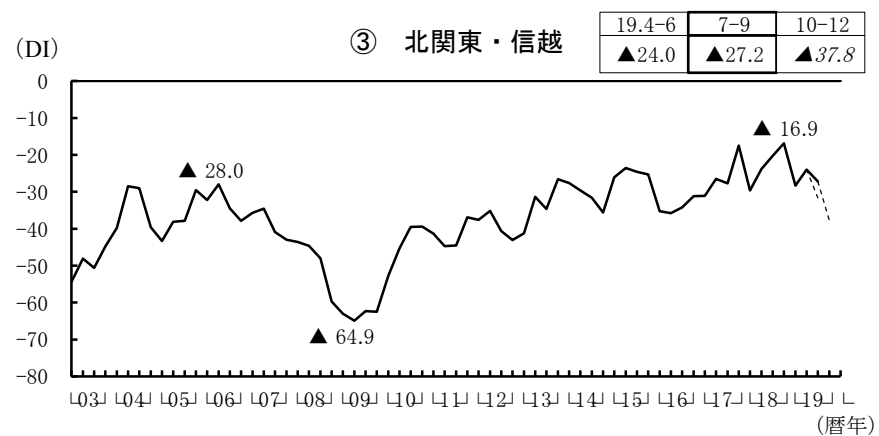
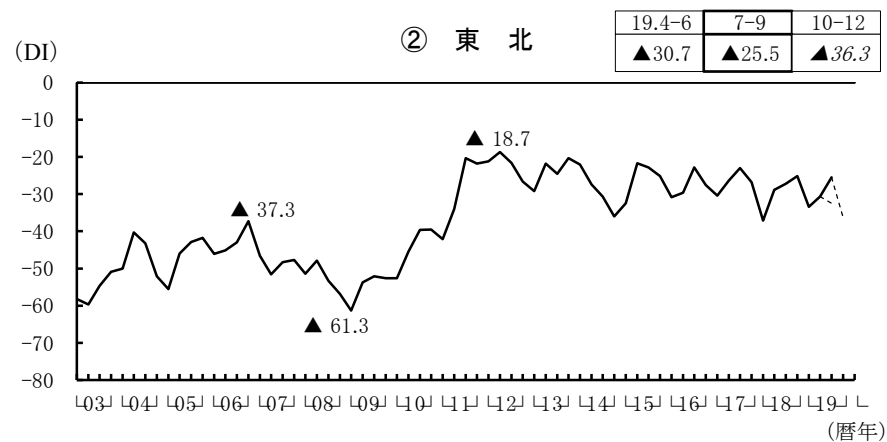
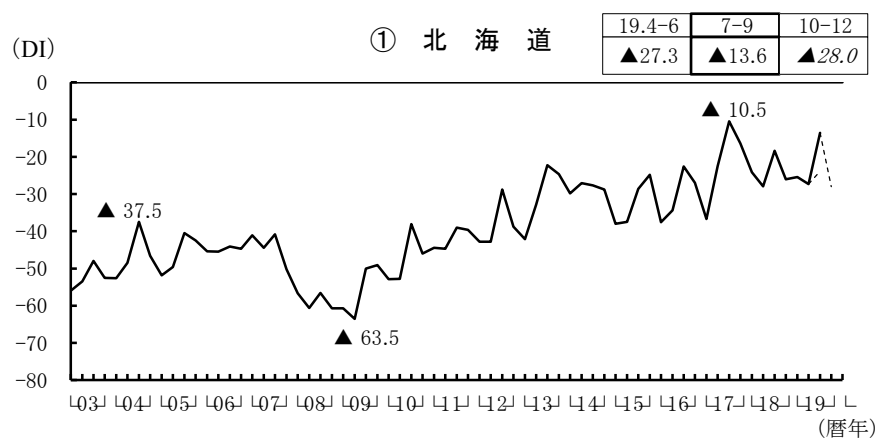


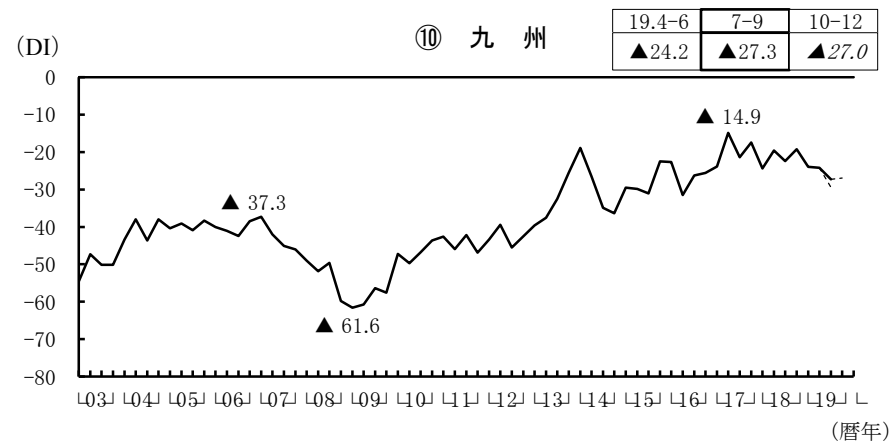
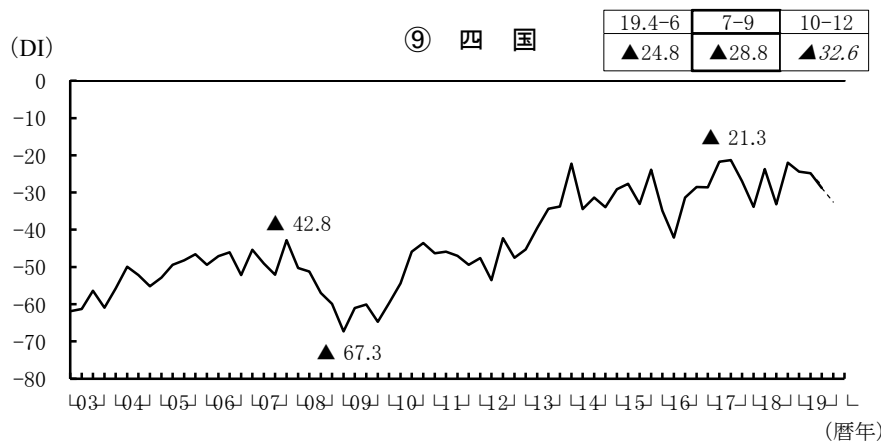
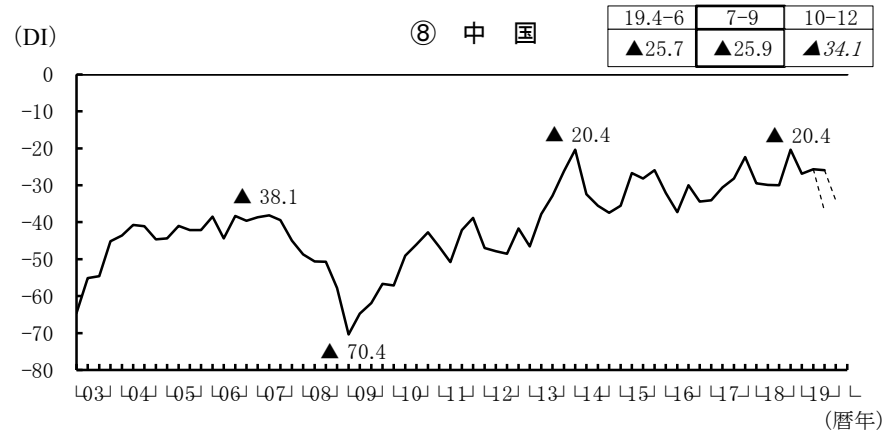
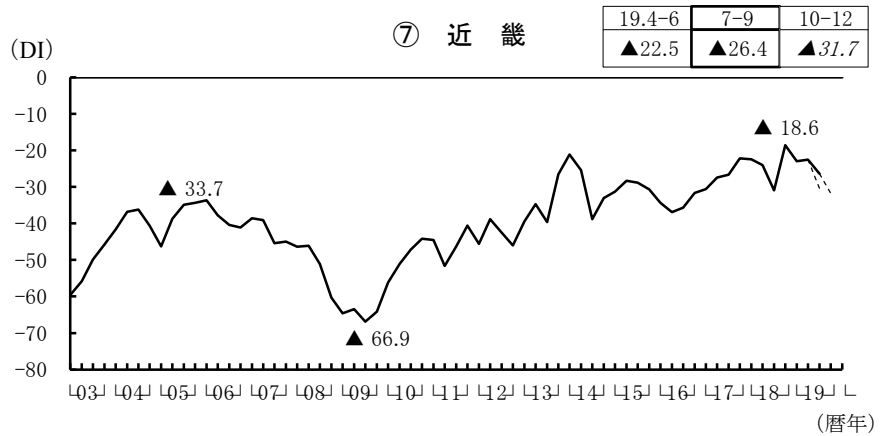
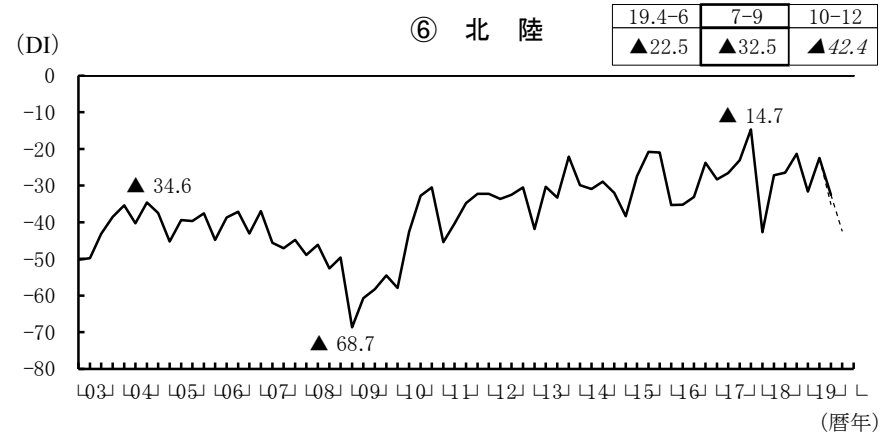
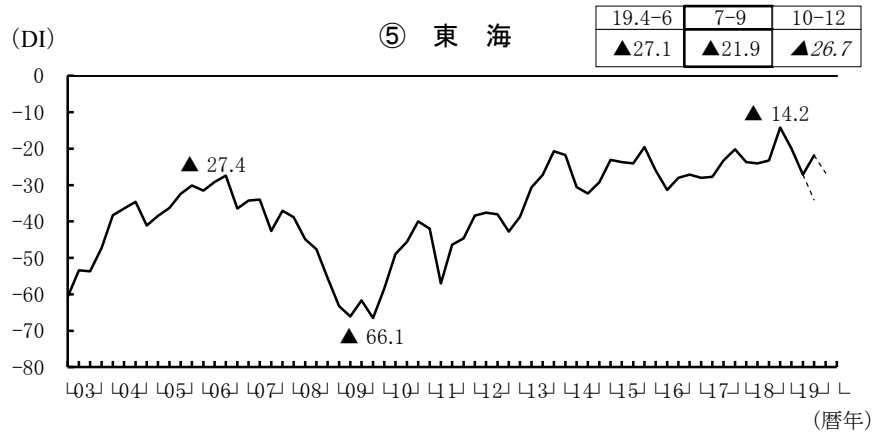
(参考) 個人向けサービス業と事業所向けサービス業の業況判断DIの推移



- 業況判断DIを地域別にみると、北海道、東北、東京・南関東、東海でマイナス幅が縮小した。
- 来期は、九州を除く全ての地域でマイナス幅が拡大する見通しである。

図－３ 地域別業況判断DIの推移

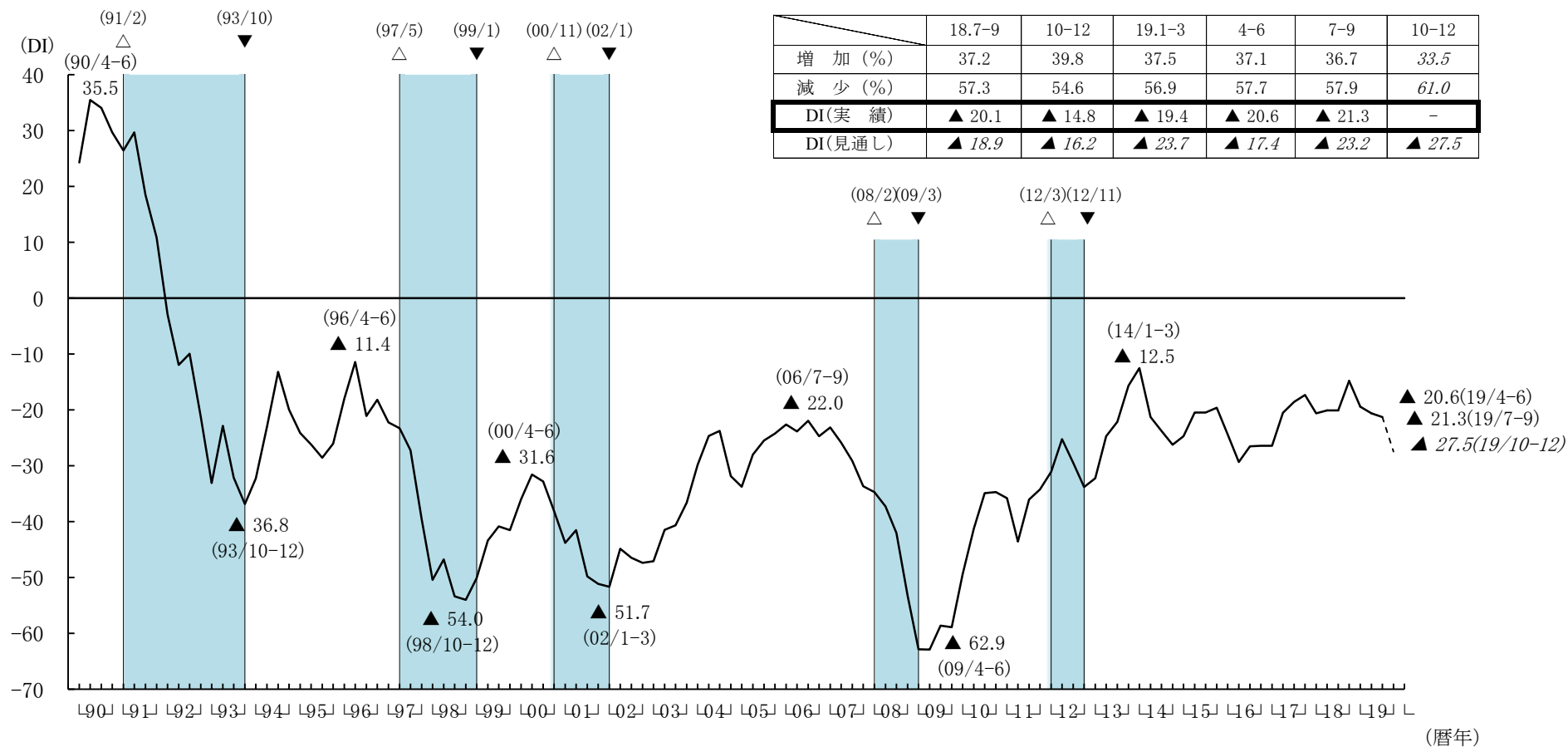




2 売上

- 今期の売上DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が0.7ポイント拡大し、▲21.3となった。
- 来期も、マイナス幅が拡大する見通しである。

図－4 売上DIの推移（全業種計）



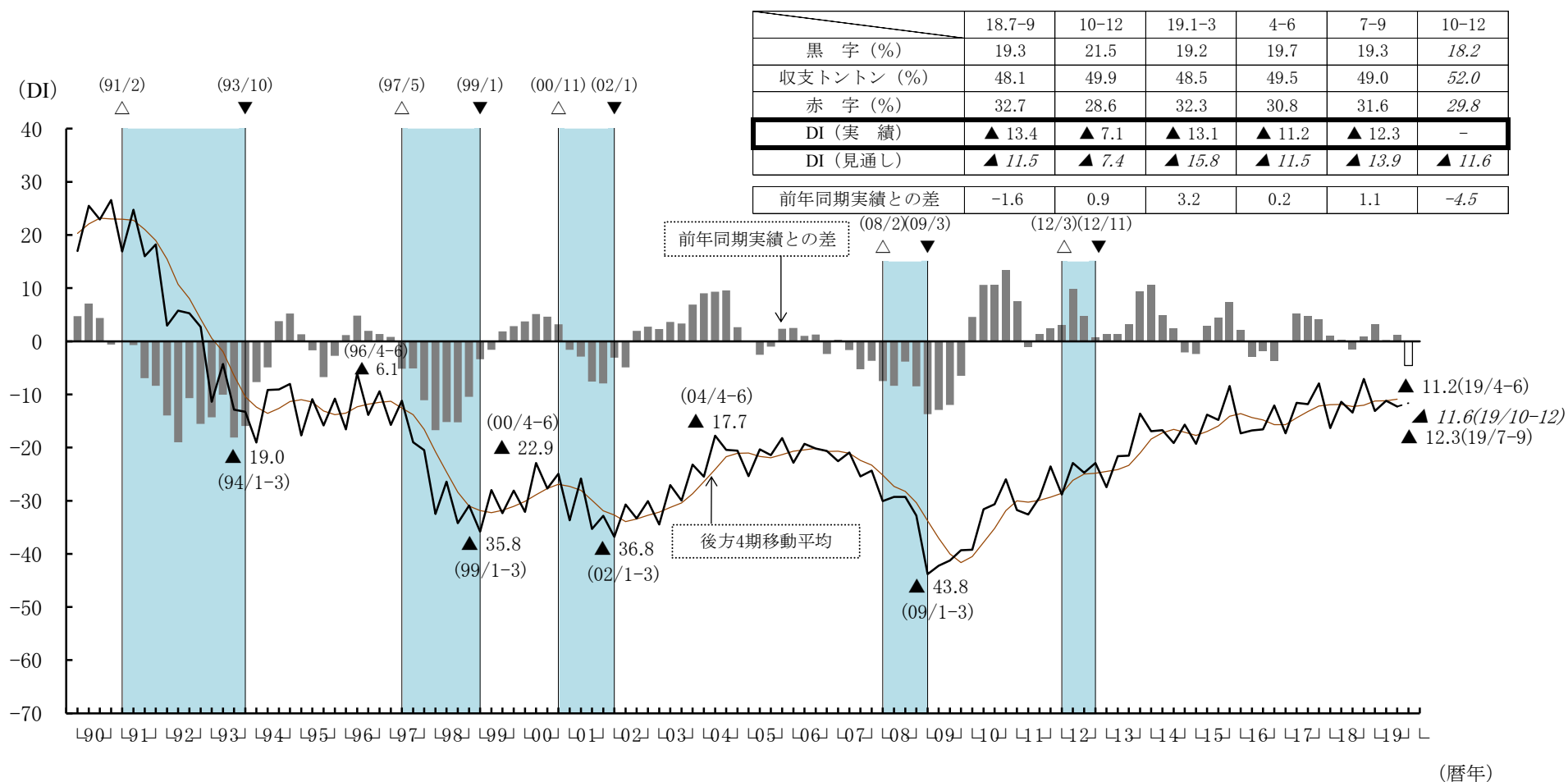
(注) 1 DIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。

2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

3 採算

- 今期の採算DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が1.1ポイント拡大し、▲12.3となった。
- 来期は、マイナス幅が縮小する見通しである。

図－5 採算DIの推移（全業種計）

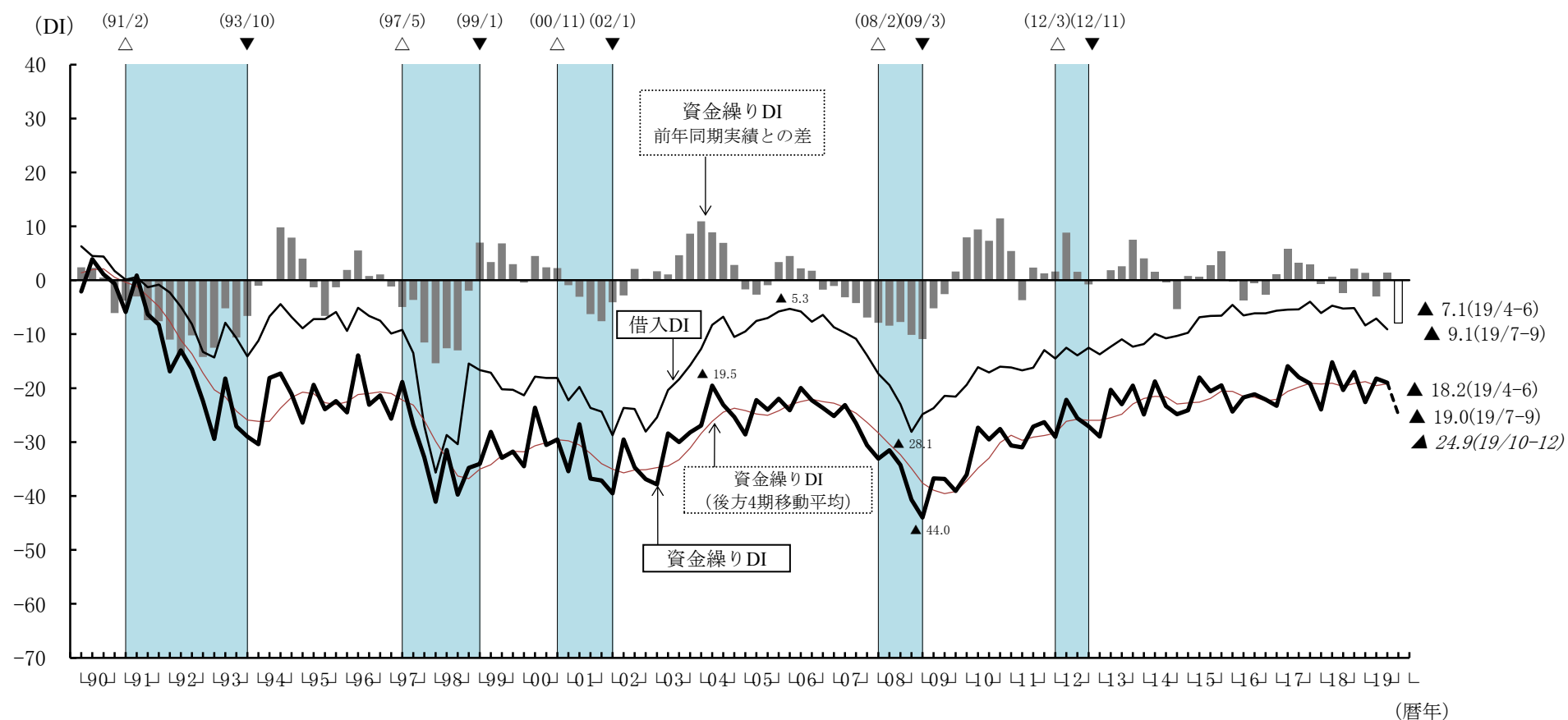


- (注) 1 DIは、「黒字」と回答した企業割合から「赤字」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。
 3 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

4 資金繰り、借入

- 今期の資金繰りDI（全業種計）は、前期からマイナス幅が0.8ポイント拡大し、▲19.0となった。来期も、マイナス幅が拡大する見通しである。
- 民間金融機関からの借入状況（全業種計）をみると、今期の借入DIは、前期からマイナス幅が2.0ポイント拡大し、▲9.1となった。

図－6 資金繰りDI、借入DIの推移（全業種計）

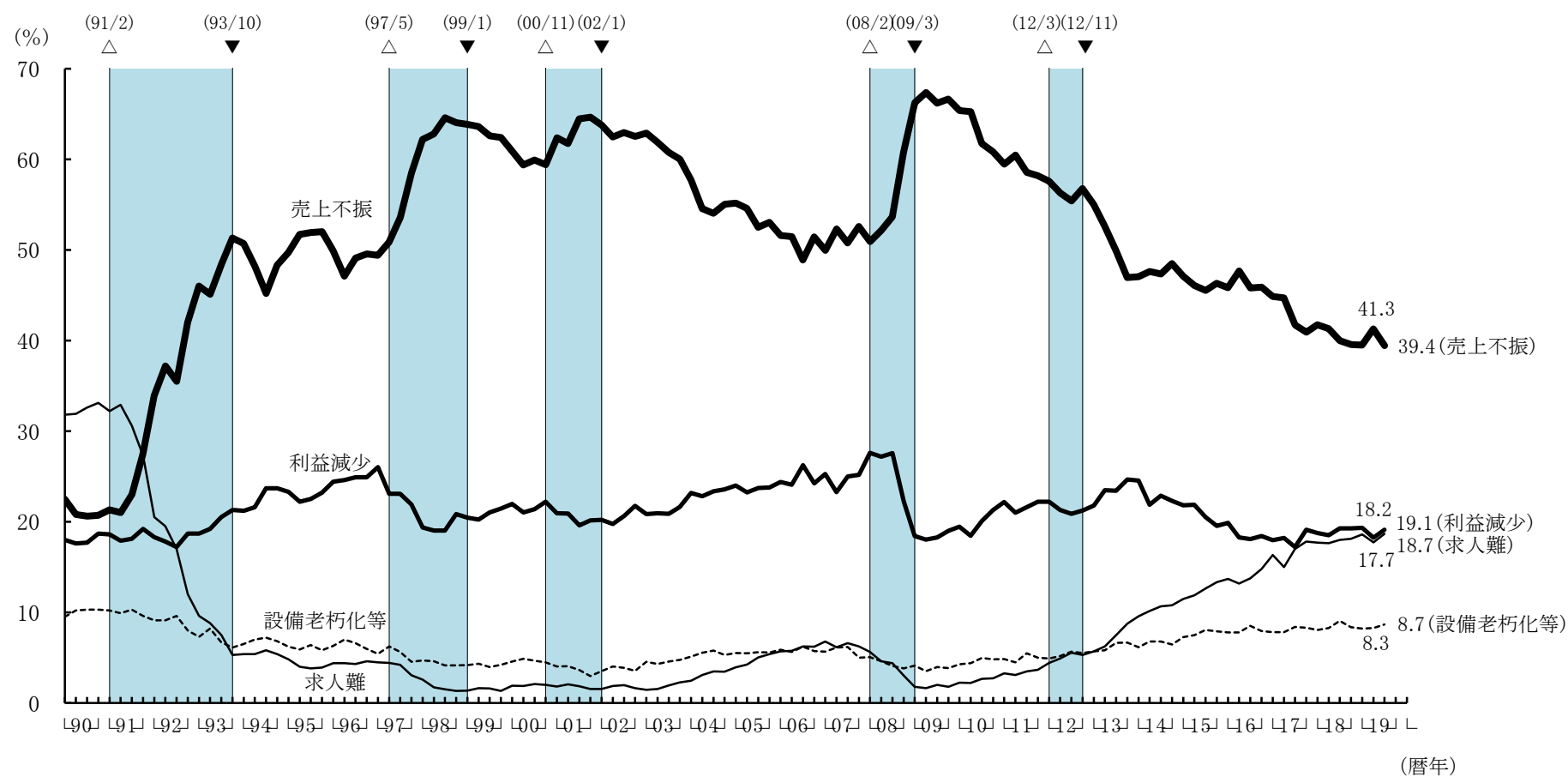


- (注) 1 資金繰りDIは、前期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 借入DIは、前期比で「容易になった」と回答した企業割合から「難しくなった」と回答した企業割合を差し引いた値。
 3 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。
 4 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

5 経営上の問題点

- 当面の経営上の問題点（全業種計）をみると、「売上不振」が39.4%と依然として最も多く、次いで、「利益減少」（19.1%）、「求人難」（18.7%）の順となっている。

図－7 経営上の問題点の推移（全業種計、上位4項目）

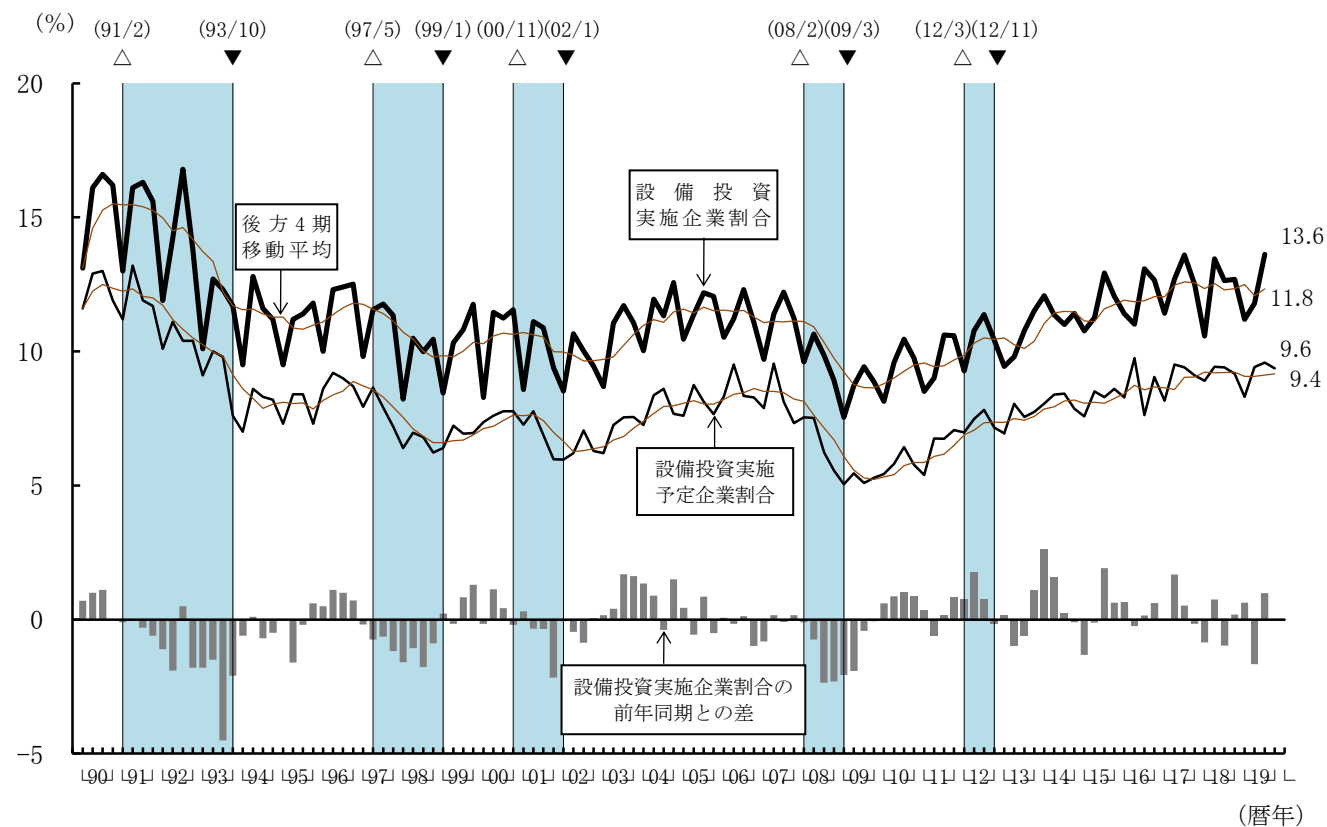


(注) 経営上の問題点（上位4項目）とは、当面の経営上の問題点について択一式で回答を求め、上位4位までを示したものの。

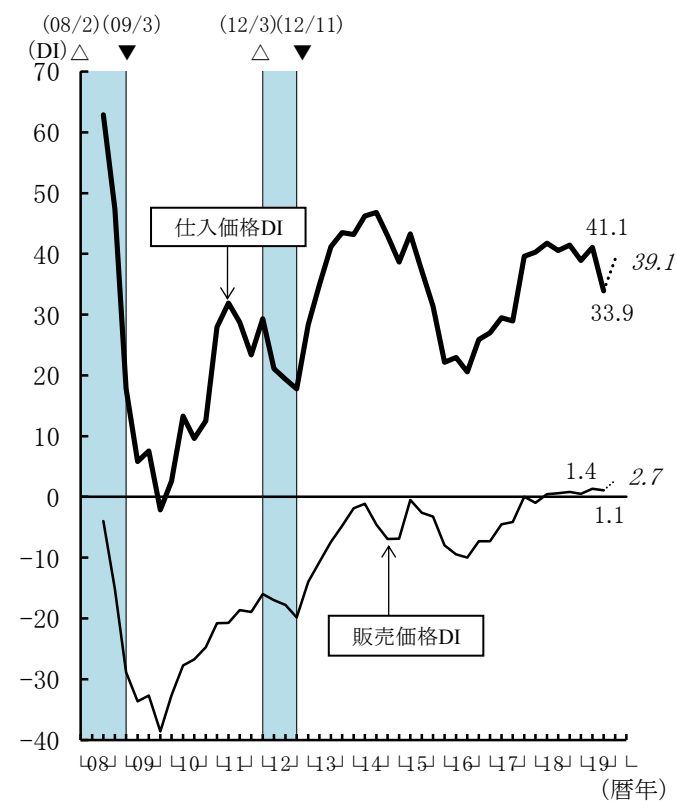
6 設備投資、価格動向

- 今期の設備投資実施企業割合（全業種計）は、前期から1.8ポイント上昇し、13.6%となった。
- 今期の販売価格DI（全業種計）は、0.3ポイント低下し、1.1となった。来期は上昇する見通しである。
- 今期の仕入価格DI（全業種計）は、7.2ポイント低下し、33.9となった。来期は上昇する見通しである。

図－8 設備投資実施企業、実施予定企業割合の推移（全業種計）



図－9 販売価格DI、仕入価格DIの推移（全業種計）



- (注) 1 DIは、前年同期比で「上昇」と回答した企業割合から「低下」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。
 3 2008年7-9月期から調査を実施。

中 小 企 業 編

(2019年7-9月期実績、10-12月期および2020年1-3月期見通し)

中小企業の景況は、回復の動きに足踏みがみられる

[調査の実施要領]

調 査 時 点	2019年9月中旬
調 査 対 象	当公庫取引先（原則従業員20人以上） 13,416社
有 効 回 答 数	6,085 社 [回答率 45.4 %]

<業 種 構 成>

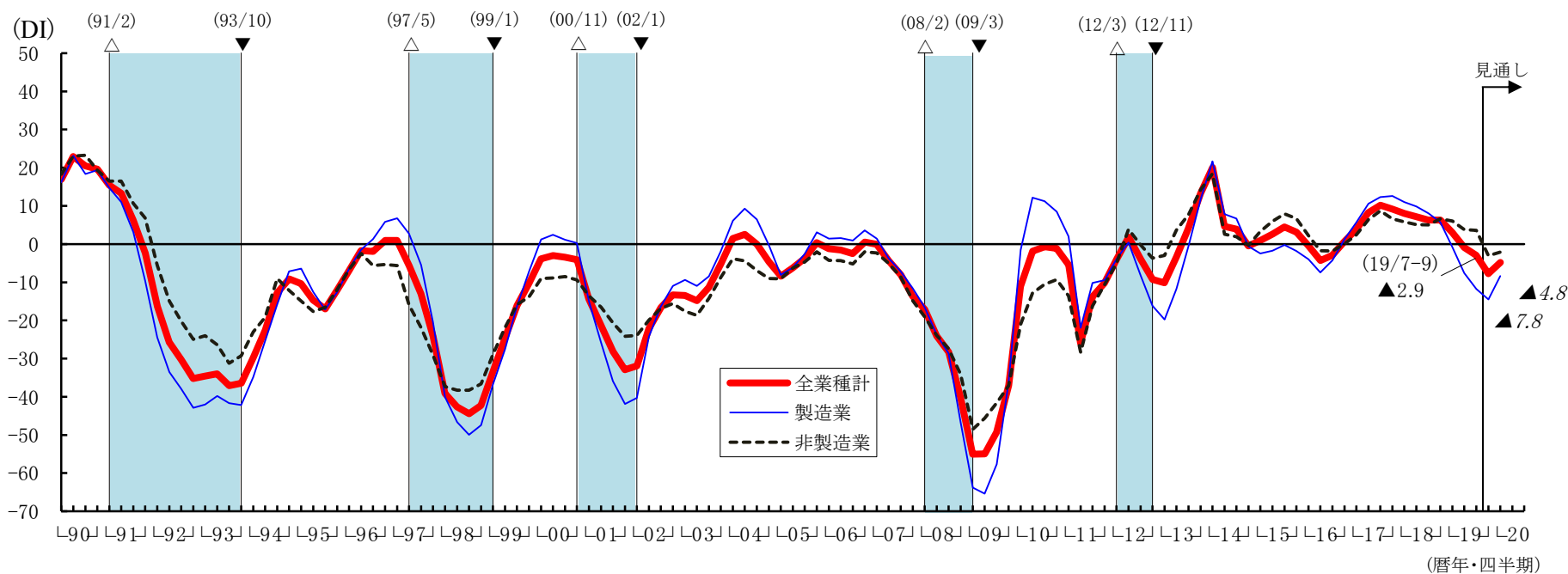
	調 査 対 象	有 効 回 答 数		
製 造 業	5,400 社	2,539 社	(構成比	41.7 %)
鉱 業	17 社	9 社	(同	0.1 %)
建 設 業	1,096 社	557 社	(同	9.2 %)
運送業(除水運)	809 社	392 社	(同	6.4 %)
水 運 業	174 社	85 社	(同	1.4 %)
倉 庫 業	68 社	32 社	(同	0.5 %)
情 報 通 信 業	302 社	126 社	(同	2.1 %)
ガ ス 供 給 業	14 社	8 社	(同	0.1 %)
不 動 産 業	872 社	324 社	(同	5.3 %)
宿泊・飲食サービス業	526 社	195 社	(同	3.2 %)
卸 売 業	1,805 社	846 社	(同	13.9 %)
小 売 業	975 社	388 社	(同	6.4 %)
サ ー ビ ス 業	1,358 社	584 社	(同	9.6 %)

1 業況判断

- 今期（2019年7－9月期）の業況判断DIは、前期（2019年4－6月期）からマイナス幅が2.0ポイント拡大し、▲2.9となった。
- 来期（2019年10－12月期）は▲7.8にマイナス幅が拡大し、来々期（2020年1－3月期）は▲4.8となる見通しである。

図－1 業況判断DIの推移（季節調整値）

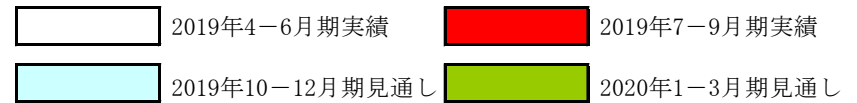
	2018/7-9	2018/10-12	2019/1-3	2019/4-6	2019/7-9 (前回見通し)	2019/10-12 (前回見通し)	2020/1-3
業況判断DI (季節調整値)	6.3	6.3	3.1	▲ 0.9	▲ 2.9 (▲ 0.5)	▲ 7.8 (▲ 2.0)	▲ 4.8
製 造 業	8.0	5.8	▲ 0.8	▲ 7.6	▲ 11.7 (▲ 7.1)	▲ 14.5 (▲ 5.7)	▲ 8.4
非 製 造 業	5.0	6.6	6.0	3.8	3.6 (4.4)	▲ 3.1 (0.6)	▲ 2.1



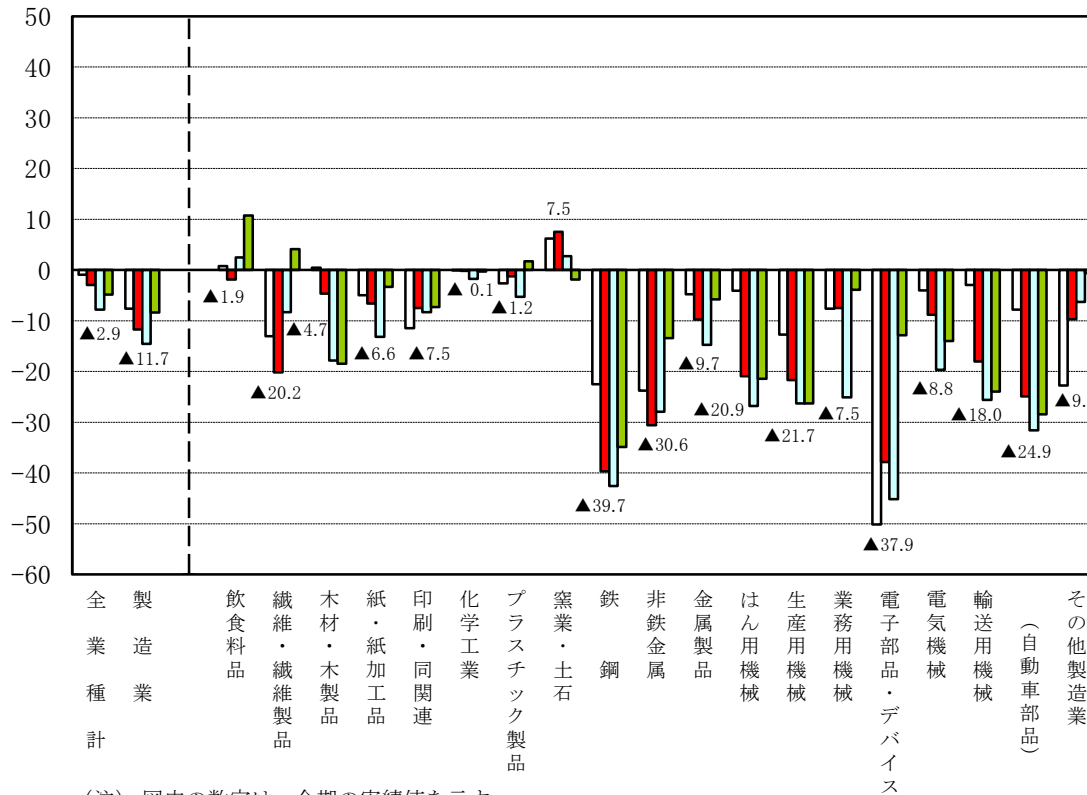
(注) 1 業況判断DIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値（季節調整値）。
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

- 今期の業況判断DIを業種別にみると、製造業は、プラスチック製品、窯業・土石、電子部品・デバイス等が上昇した。一方、鉄鋼、生産用機械、輸送用機械等は低下した。
- 非製造業は、倉庫業、情報通信業、宿泊・飲食サービス業等が低下した。

図－2 業種別業況判断DIの推移（季節調整値）

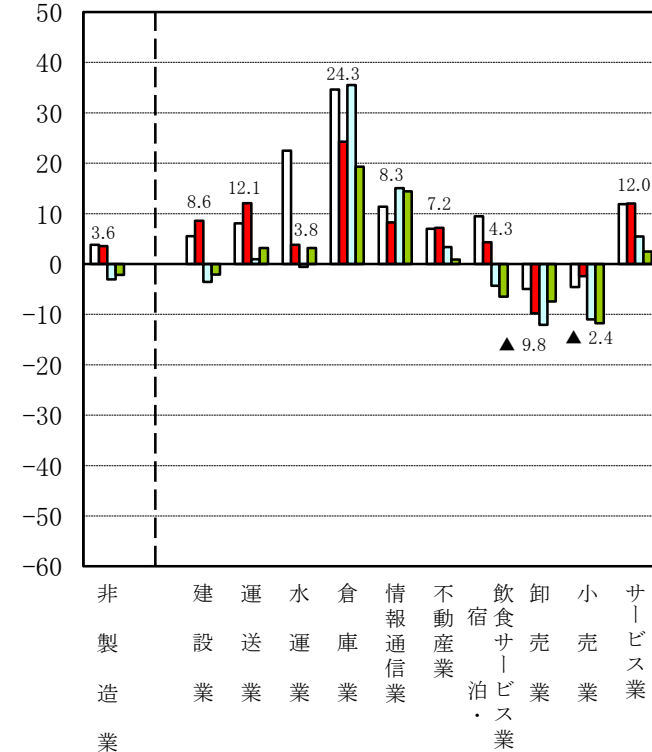


－製造業－
(DI)



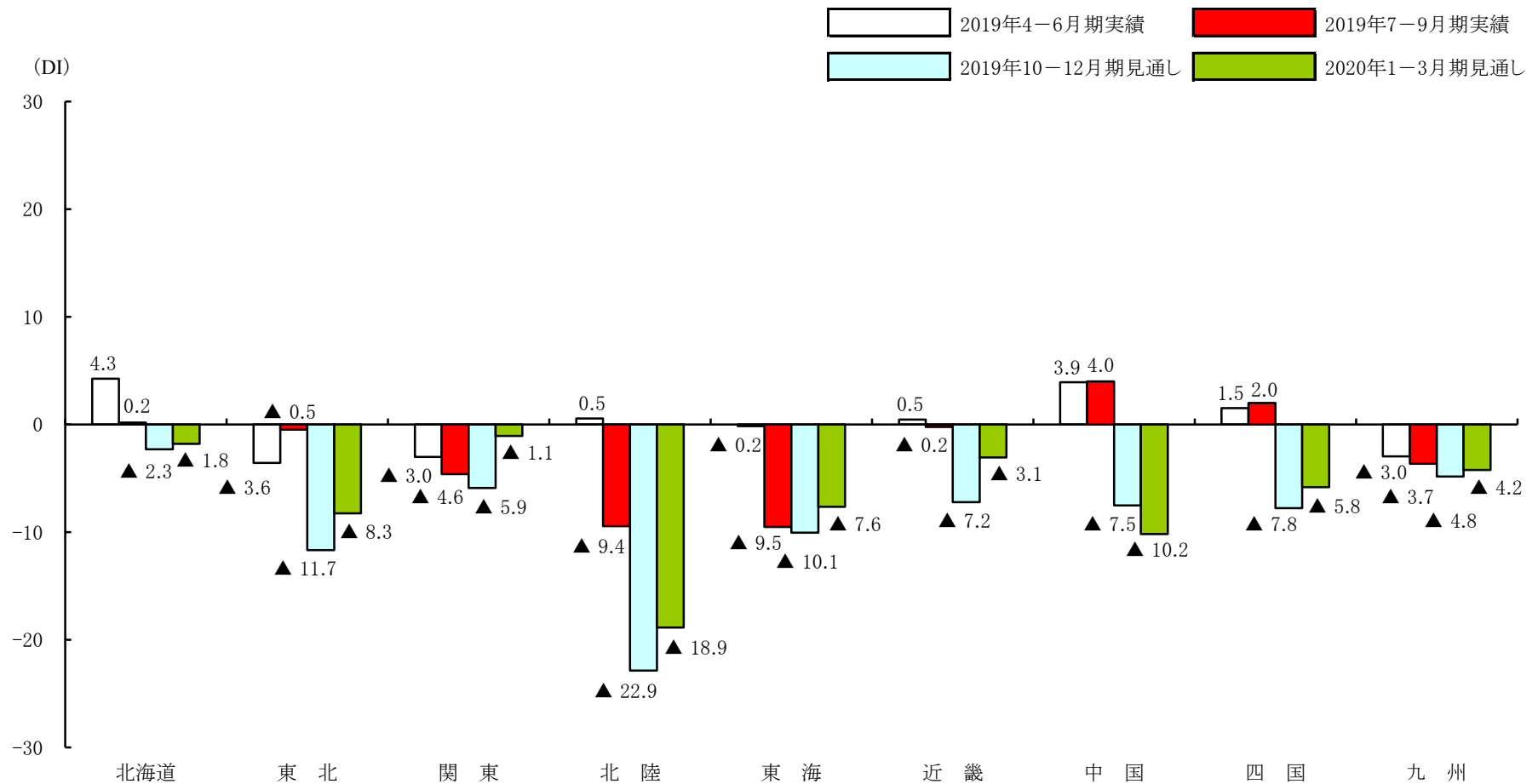
(注) 図中の数字は、今期の実績値を示す。

－非製造業－
(DI)



- 業況判断DIを地域別にみると、今期は北海道、関東、北陸、東海、近畿、九州の6地域で低下した。
- 来期は、すべての地域で低下する見通しである。

図－3 地域別業況判断DI（季節調整値）

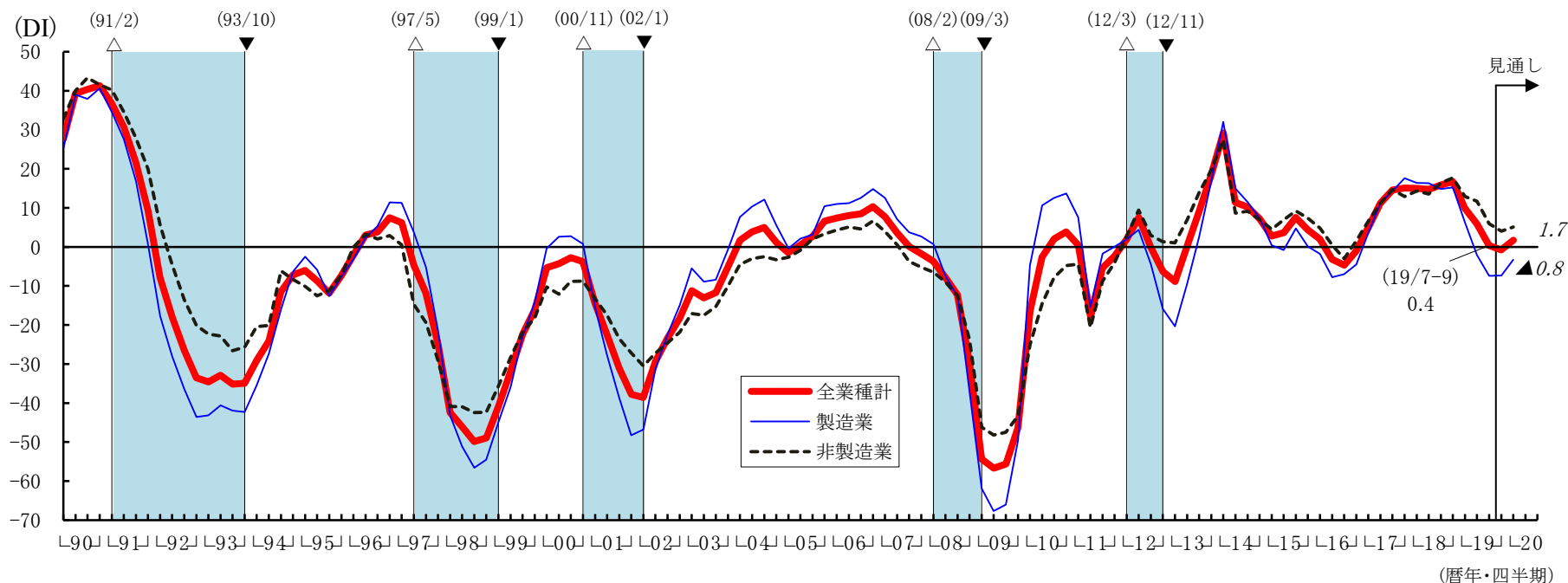


2 売 上

- 今期の売上DIは、前期から5.4ポイント低下し、0.4となった。
- 来期は▲0.8に低下し、来々期は1.7となる見通しである。

図－4 売上DIの推移（季節調整値）

	2018/7-9	2018/10-12	2019/1-3	2019/4-6	2019/7-9 (前回見通し)	2019/10-12 (前回見通し)	2020/1-3
売上DI (季節調整値)	15.8	16.7	9.9	5.8	0.4 (7.6)	▲ 0.8 (4.6)	1.7
製 造 業	14.8	15.2	6.2	▲ 2.1	▲ 7.4 (1.6)	▲ 7.3 (0.9)	▲ 3.3
非 製 造 業	16.4	17.6	12.9	11.7	5.9 (11.9)	4.0 (7.2)	5.1



(注) 1 売上DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。

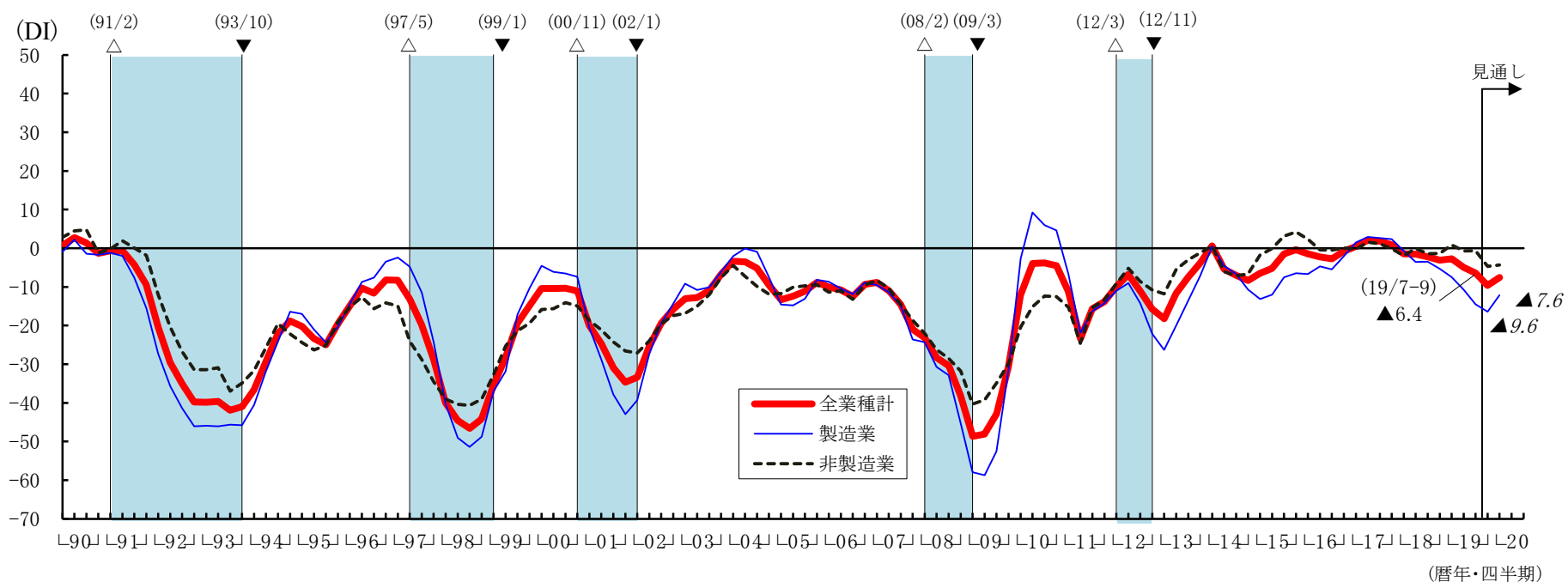
2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

3 利益

- 今期の純益率DIは、前期からマイナス幅が1.5ポイント拡大し、▲6.4となった。
- 来期は▲9.6とマイナス幅が拡大し、来々期は▲7.6となる見通しである。

図－5 純益率DIの推移（季節調整値）

	2018/7-9	2018/10-12	2019/1-3	2019/4-6	2019/7-9 (前回見通し)	2019/10-12 (前回見通し)	2020/1-3
純益率DI (季節調整値)	▲ 2.3	▲ 3.1	▲ 2.7	▲ 4.9	▲ 6.4 (▲ 4.3)	▲ 9.6 (▲ 4.8)	▲ 7.6
製 造 業	▲ 3.5	▲ 5.3	▲ 7.4	▲ 10.7	▲ 14.5 (▲ 9.4)	▲ 16.4 (▲ 9.0)	▲ 12.1
非 製 造 業	▲ 1.4	▲ 1.3	0.9	▲ 0.7	▲ 0.6 (▲ 0.5)	▲ 4.7 (▲ 1.8)	▲ 4.3



(注) 1 純益率DIは、前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（季節調整値）。

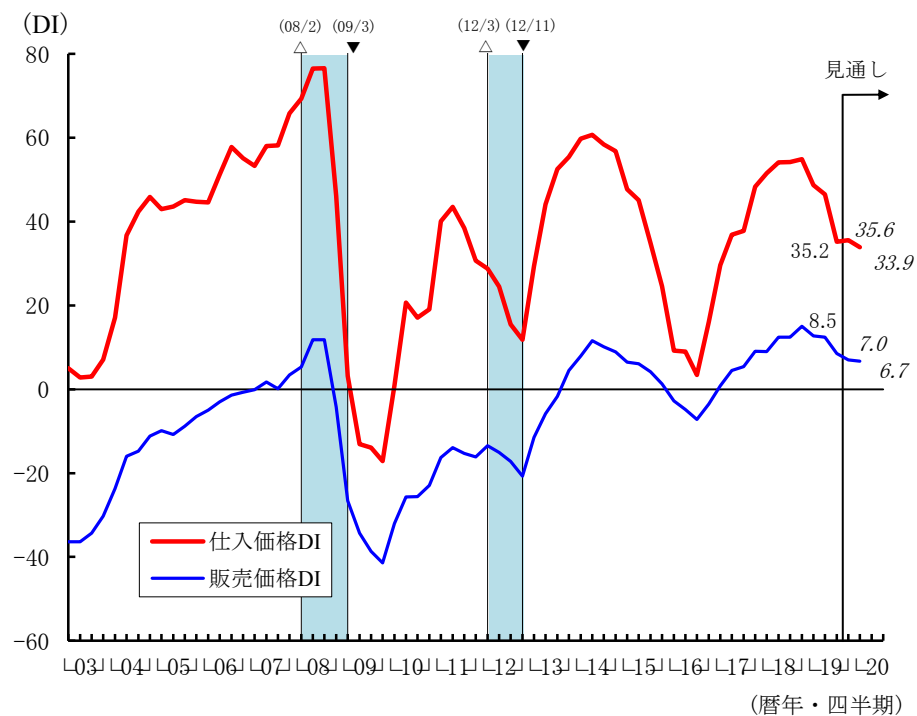
2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

4 価格、金融関連

- 今期の販売価格DIは、前期から3.9ポイント低下し、8.5となった。仕入価格DIは前期から11.3ポイント低下し、35.2となった。来期は販売価格DIは低下し、仕入価格DIは上昇する見通しである。
- 今期の資金繰りDIは前期から低下した。長期借入難易DIは上昇し、短期借入難易DIは低下した。

図－6 価格関連DIの推移（原数値）

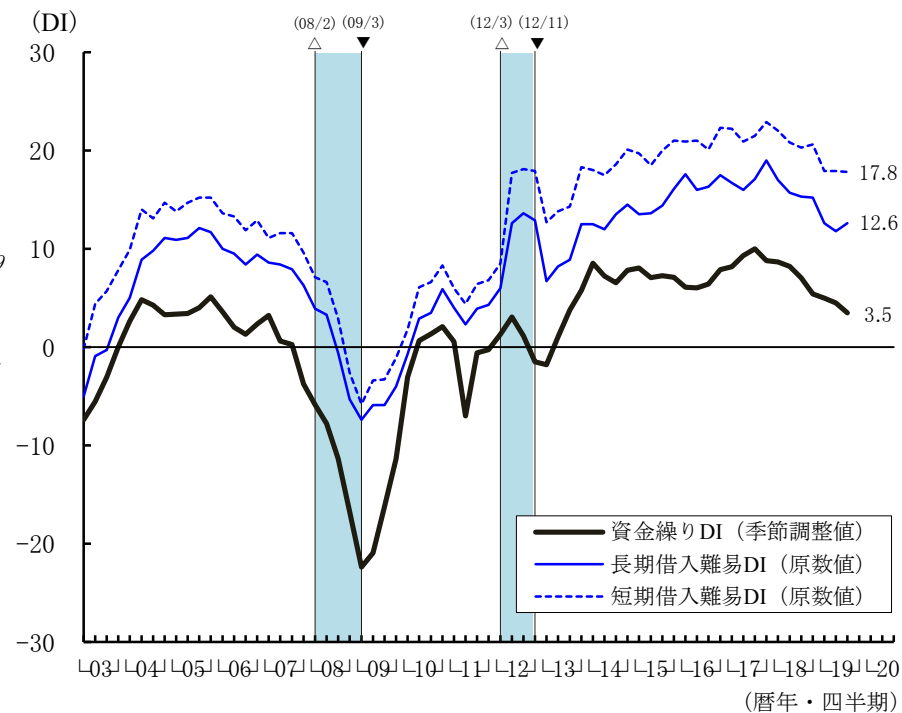
	2018/7-9	2018/10-12	2019/1-3	2019/4-6	2019/7-9	2019/10-12	2020/1-3
販売価格DI	12.4	15.0	12.7	12.4	8.5	7.0	6.7
仕入価格DI	54.2	54.9	48.7	46.5	35.2	35.6	33.9



- (注) 1 仕入価格DI、販売価格DIともに前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（原数値）。
2 図中の数字は今期実績および見通し（斜体）の値を示す。

図－7 金融関連DIの推移

	2018/7-9	2018/10-12	2019/1-3	2019/4-6	2019/7-9
資金繰りDI（季節調整値）	7.0	5.4	5.0	4.5	3.5
長期借入難易DI（原数値）	15.3	15.2	12.6	11.8	12.6
短期借入難易DI（原数値）	20.3	20.6	17.9	17.9	17.8



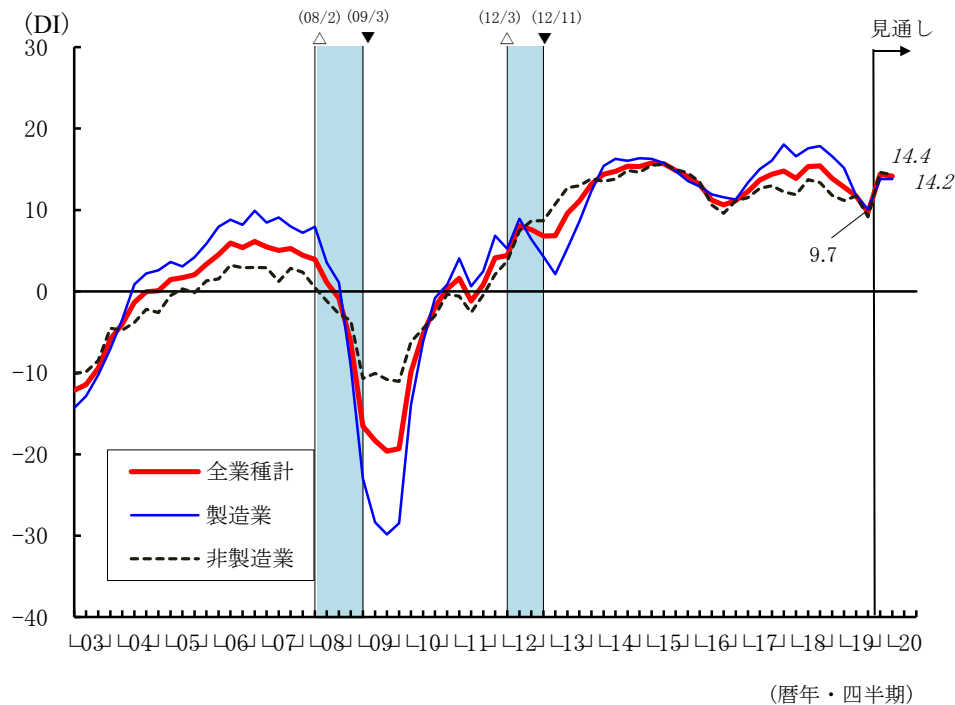
- (注) 1 資金繰りDIは、前年同期比で「好転」企業割合－「悪化」企業割合（季節調整値）。
2 借入難易DIは、前年同期比で「容易」企業割合－「困難」企業割合（原数値）。
3 図中の数字は今期の実績値を示す。

5 雇用、設備

- 今期の従業員DIは、前期から2.0ポイント低下し、9.7となった。来期は上昇する見通しである。
- 今期の設備投資実施企業割合は、前期から0.5ポイント上昇し、40.8%となった。

図－8 従業員DIの推移（季節調整値）

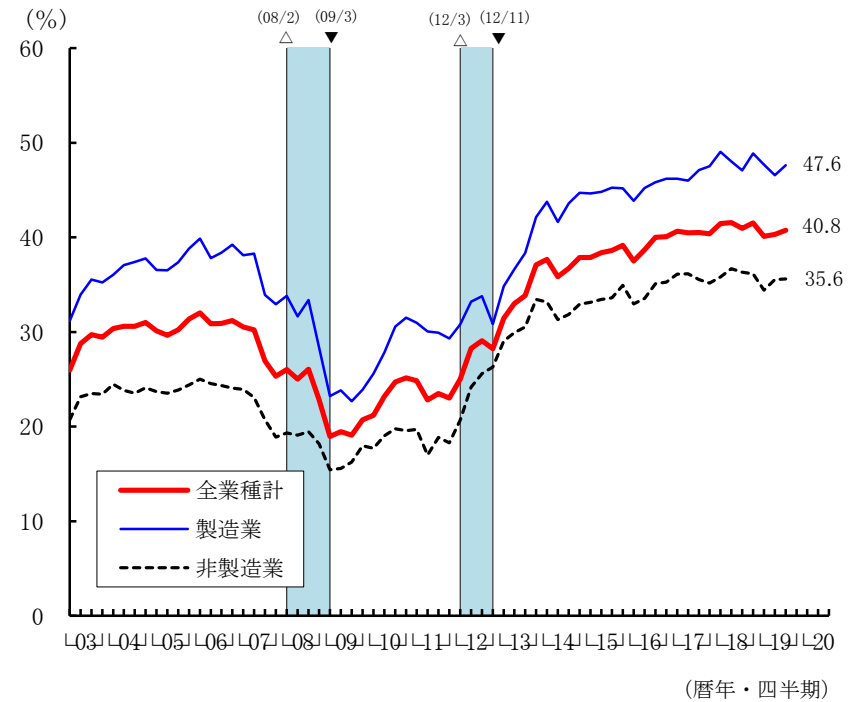
	2018/7-9	2018/10-12	2019/1-3	2019/4-6	2019/7-9	2019/10-12	2020/1-3
全業種計	15.4	13.9	12.8	11.7	9.7	14.4	14.2
製造業	17.9	16.6	15.2	11.8	10.0	13.8	13.8
非製造業	13.4	11.8	11.2	11.7	9.2	14.6	14.3



(注) 1 従業員DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。
2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

図－9 設備投資実施企業割合の推移（季節調整値）

	2018/7-9	2018/10-12	2019/1-3	2019/4-6	2019/7-9
全業種計	40.9	41.5	40.1	40.3	40.8
製造業	47.1	48.9	47.7	46.6	47.6
非製造業	36.3	36.2	34.4	35.5	35.6



(注) 図中の数字は今期の実績値を示す。

6 経営上の問題点

- 当面の経営上の問題点をみると、「売上・受注の停滞、減少」が34.6%と最も多く、次いで、「求人難」(32.0%)、「原材料高」(6.7%)となっている。
- 前回調査と比べると、「売上・受注の停滞、減少」は2.9ポイント、「求人難」は1.7ポイント上昇した。

図-10 経営上の問題点の推移

